

広報 の み

Nomi City News Letter

4月号

2022 No.207

広報能美



花言葉は「運命を開く」

3月に行われた市内保育園・小中学校の卒園・卒業式で華やかに飾られたプリムラ・マラコイデス（サクラソウ科）

主な
内容

- 新型コロナワクチン接種について
- 4月1日から市役所の課・室名と執務場所が一部変わります
- 石川県知事選挙の結果
- 新任医師をご紹介します
- 令和4年度当初予算 能美市の予算と施策



4月1日から市役所の課・室名と執務場所が一部変わります

問 / 総務課 (☎ 58-2200 ☎ 58-2290)

市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、4月1日付けで組織の改編を行います。変更のある組織・業務内容およびレイアウトの変更がある庁舎のフロアマップをお知らせします。

▶ 改編組織一覧

変更前の課・室名	変更後の課・室名	連絡先	主な業務内容
秘書室	市長室	電話 58-2202 FAX 58-2290	秘書業務、広報広聴（広報紙、市ホームページ、市民満足度調査）、タウンミーティング、表彰・褒章、寄附
市戦略課	企画デジタル課	電話 58-2204 FAX 58-2291	市政の総合的な企画および計画、シティプロモーション、ふるさと納税、情報システム、自治体DXの推進
デジタル戦略室 SDGs推進室	SDGs推進室	電話 58-2220 FAX 58-2291	SDGsの推進、産学官金連携、大学連携
税務課 債権管理課	税務債権課	電話 58-2206 FAX 58-2292	市税の賦課、土地・家屋・償却資産の評価および課税台帳の整備、市税の収納・納税相談・滞納整理・督促・催告・処分

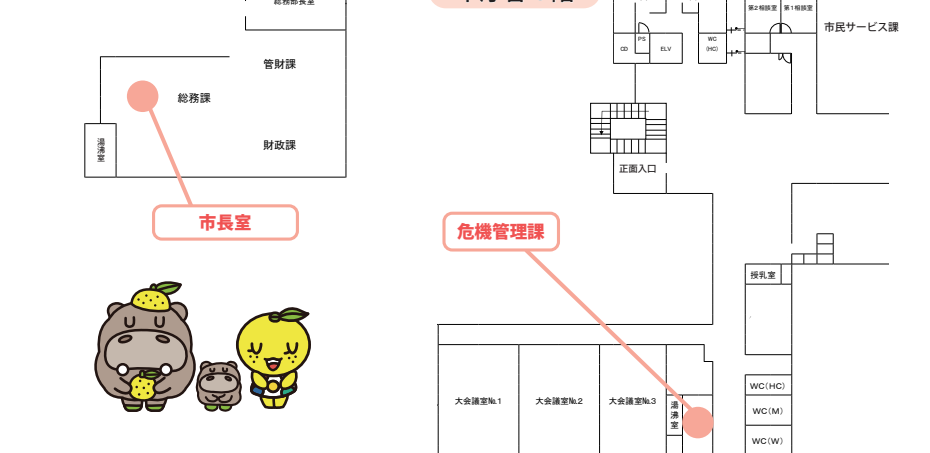
都市施設の整備ならびに公共建築工事に係る業務の一部および法定外公共物に関する業務の担当課が変更となります。	
変更後の担当課	変更後の業務内容
土木課	都市施設の整備、公園・緑地の維持管理など、工事の審査・検査
まち整備課	公共建築工事の設計・審査・監理
管財課	法定外公共物の手続

▶ レイアウトの変更がある庁舎のフロアマップ

本庁舎2階



本庁舎1階



新型コロナウイルスワクチン接種について

掲載内容は3月17日(木)現在のものです。最新の情報については市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルスワクチン追加(3回目)接種について

新型コロナウイルスワクチンの2回目接種完了日から6か月以上を経過した18歳以上の方は、追加(3回目)接種が可能です。接種時期が近づきましたら、対象となる方に順次接種券を送付します。詳細については接種券と同封されている案内をご覧ください。

今後の接種の見通し

2回目接種時期	対象年齢(※令和4年3月31日時点)	追加接種可能時期	予約受付時期	接種券の送付時期
7月	64歳以下	3月10日～	受付中	2月18日
8月	全員			
9月	65歳以上			
9月1日～5日	64歳以下	3月下旬～	3月下旬～	3月18日
9月6日～30日	64歳以下			
10月	全員			
11月	全員	5月～	4月下旬～	4月中旬

※接種券をお持ちの方は、予約枠の空き状況により、予約受付が早まる場合があります。

小児(5～11歳)の新型コロナウイルスワクチン接種が始まっています

対象者

5～11歳の方(1回目の接種時点)

※5歳児については、誕生月に接種券を送付します。

使用するワクチン

ファイザー社製の小児用ワクチン ※3週間の間隔を空けて、2回接種します。

接種場所

能美市内指定医療機関

対象となる方には接種券を送付しています。詳しくは同封されている案内をご覧ください。

感染予防対策を継続しましょう！(ワクチン接種後も対策が必要です)

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避

密集場所 ×



密接場面 ×



密閉空間 ×



マスクの着用



石けんによる手洗い



手指消毒用アルコールによる消毒の励行



新型コロナウイルスワクチン接種に関する最新情報は、市ホームページで公開しています

市ホームページQRコード



問い合わせ

能美市新型コロナウイルス接種コールセンター

☎0570-050670

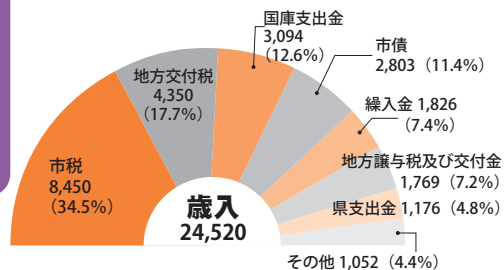
[平日9時～17時] (電話がつながった後から通話料がかかります)



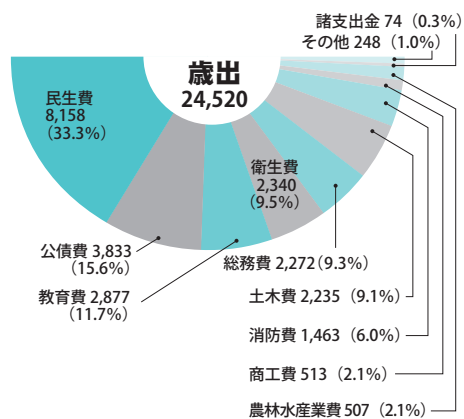
令和4年度 一般会計 245 億 2,000 万円

※借換債（10 億 9,448 万円）を含む
（前年度比＋7 億 7,000 万円 3.2%増）

予算総額 429 億 7,520 万円
（一般会計・特別会計・公営企業会計を合わせた予算額
前年度比＋9 億 4,419 万円 2.2%増）



一般会計 歳入・歳出 (単位：百万円)



特別会計・企業会計

特別会計	
国民健康保険特別会計	42 億 7,800 万円
後期高齢者医療特別会計	6 億 9,600 万円
介護保険特別会計	46 億 400 万円
温泉事業特別会計	1,260 万円

▶特別会計…国民健康保険など一般会計とは区別が必要な事業の会計
▶企業会計…水道など料金収入で運営している事業の会計

全体像とポイント

令和4年度当初予算の一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、429 億 7,520 万円と前年度比 9 億 4,419 万円、2.2%の増となりました。このうち一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ 245 億 2,000 万円となり、前年度比 7 億 7,000 万円、3.2%の増となりました。
※前年度比は、令和3年度当初予算が骨格予算であったため、6月補正予算を加えた予算額との比較です。

歳入

市税は、所得環境および企業の業績が徐々に回復していることから、個人市民税、法人市民税ともに増収を見込みました。固定資産税は、新型コロナウイルス感染症にかかる家屋および償却資産の特例軽減措置が令和3年度で終了することから増収を見込みました。

市税の総額では、前年度比 5 億円、6.3% 増の 84 億 5,000 万円を見込みました。

地方交付税は、国の地方財政計画などを考慮し、前年度比 2 億 5,000 万円、6.1% 増の 43 億 5,000 万円としたほか、市債は、臨時財政対策債における新型コロナウイルス感染症の影響による特例加算の終了などにより、前年度比 6 億 2,556 万円、18.2% 減の 28 億 258 万円としました。

歳出

民生費は、健康増進施設整備事業や福島保育園施設整備事業などの終了により、前年度比 3 億 6,780 万円、4.3% 減の 81 億 5,780 万円を計上しました。

公債費は、平成 24 年度の長期借入が 10 年経過したことから借換債を発行するため、前年度比 10 億 813 万円、35.7% 増の 38 億 3,307 万円を計上しました。

教育費は、寺井体育館改修事業や陸上競技場公認取得事業などの終了により、前年度比 4 億 8,560 万円、14.4% 減の 28 億 7,666 万円を計上しました。

土木費は、根上国道線道路改良事業や交通安全対策に伴う施設整備事業などにより、前年度比 2 億 1,324 万円、10.5% 増の 22 億 3,489 万円を計上しました。

消防費は、防災情報伝達システム整備事業や防災備蓄倉庫整備事業などにより、前年度比 5 億 960 万円、53.4% 増の 14 億 6,348 万円を計上しました。

企業会計		
水道事業会計	収益	9 億 2,510 万円
	資本	7 億 6,200 万円
工業用水道事業会計	収益	4 億 1,350 万円
	資本	4 億 3,050 万円
下水道事業会計	収益	16 億 9,940 万円
	資本	18 億 4,080 万円
市立病院事業会計	収益	25 億 2,400 万円
	資本	2 億 6,930 万円

能美市の予算と施策

問 / 財政課 (☎ 58-2203 図 58-2290)

予算編成の方針

能美市においては、戦略的企業誘致の取り組みにより、福島グランパークなどへの進出表明が相次ぎ、地域経済の活性化と雇用の創出が大いに期待されます。2023 年は国民文化祭の開催や加賀立国 1200 年、翌年春には北陸新幹線県内全線開業が控えており、これら千載一遇の効果を永続して多分野にもたらすための準備を加速していく必要があります。

そこで新年度は、新型コロナウイルスの感染症対策を講じながら、事業・施策の 7 本柱と 5 つの方針・目的により、全ての施策が移住定住の促進につながるよう予算編成を行いました。

事業・施策の 7 本柱と 5 つの方針・目的により予算を編成 「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を目指して



支援施策



- ・**定住促進助成交付金事業（6,255万円）**
若者世帯の住宅取得を支援し、市内への移住定住の促進を図ります。
- ・**通勤用マイカー購入応援企業補助事業（500万円）**
新規採用の正規職員に対し、通勤用自家用車の購入費を助成する市内企業に対して、助成した経費の一部を補助します。
- ・**U・I・Jターン就職促進事業（436万円）**
SNS や就職支援専門誌での情報発信のほか、市出身の県外在住大学生などに市内企業のリクルート情報を提供します。また市内企業就職に伴う移住を支援する家賃補助や企業 PR 動画制作費を補助します。
- ・**結婚新生活支援事業（319万円）**
新生活に必要な新居の取得やリフォーム、賃借または引越に係る費用を支援します。

住宅地の確保と地域主体のまちづくり

- ・**土地利用計画検討業務（500万円）**
地域の実情や社会情勢の変化に対応した土地利用計画の見直しを検討します。

デジタル技術の導入

子育て・住環境の充実

- ・**Web 健康手帳事業（551万円）**
健診の記録や予防接種のスケジュール管理のほか、年齢に合わせた健康情報の受け取りが可能な母子健康手帳アプリを導入します。
- ・**保育園 ICT 化事業（453万円）**
保育園と保護者との連絡をより円滑に行うため、ICT ソフトを活用し、保育士の業務を効率化します。

交流人口の拡大

- ・**能美市の文化巡り
観光デジタルスタンプラリー事業（350万円）**
スマートフォンを利用し、市内を巡る非接触型スタンプラリーを期間限定で開催します。

安全安心のまちづくり

- ・**防災情報伝達システム整備事業（5億1,718万円）**
地域の屋外スピーカーの更新や各世帯への戸別受信機の配付をし、登録制メールなどでの情報配信を開始します。
- ・**医療介護連携システム構築事業（1億円）**
DX による医療・介護・生活支援の情報連携基盤を構築します。

- ・**創業支援事業（525万円）**
市内で対象業種を新たに創業する方を対象に創業経費の一部を支援します。
- ・**建設業人材確保推進事業（60万円）**
地元建設業の人材確保のためイメージアップにつながるイベントを能美市商工会建設部会と連携して開催します。
- ・**九谷焼後継者定着拡大支援事業（584万円）**
石川県立九谷焼技術研究所などの卒業生を雇用した九谷焼製造事業者に対して補助します。
- ・**新規採用者確保支援事業（650万円）再掲**
- ・**サテライトオフィス体験事業（400万円）再掲**
- ・**小規模事業者支援事業（150万円）再掲**



- ・**里山イノベーション事業（130万円）**
住民自らが地域のありたい姿を「地域ビジョン」として描き、持続可能な地域運営につなげるため、東部地区、国造地区の地域運営組織の活動を支援します。

産業振興・企業誘致推進・人材確保対策

- ・**農村 DX 推進事業（120万円）**
身近なデジタル技術を活用し、スマート農業・農村を推進します。
- ・**鳥獣被害防止総合対策事業（54万円）**
クマ認識 AI ツールや SIM カメラなどのデジタル技術を活用し、クマの出没状況を確認することで市民の安全を確保します。

教育力の向上

- ・**視聴覚機器等活用モデル事業（1,324万円）**
市内 8 小学校に 1 クラス 1 台の液晶ディスプレイ一体型電子黒板を整備し、全小中学校全てのクラスへの整備が完了します。

- ・**強い互助づくりの支援体制構築事業（660万円）**
地域共生アプリ「みまもりあいアプリ」を活用し、地域の互助活動の推進や就労準備支援、社会参加促進など、地域・社会とのつながりの回復を目指します。
- ・**市民協働型施設管理事業（48万円）**
市民が道路・公園・防犯灯などの損傷や不具合を簡単に投稿できる施設システムを導入します。

with・after コロナ



安全安心対策

- ・**新型コロナウイルスワクチン接種事業（1億9,009万円）**
2 回目接種完了日から 6 か月以上経過した 18 歳以上の希望者を対象に追加接種を実施します。
- ・**新型コロナウイルス検査助成事業（140万円）**
行政検査以外の PCR 検査費用を助成します。
- ・**定期予防接種助成事業・任意予防接種助成事業（1,234万円）**
令和 2 年度に拡充した予防接種の助成を継続実施します。
- ・**保育施設及び学校安全管理対策事業（895万円）**
保育施設や小中学校の感染症対策に必要な備品・消耗品などを購入します。
- ・**救急業務出動費（390万円）**
新型コロナウイルスの感染者搬送に必要な救急消耗品を購入します。
- ・**自治公民館施設整備事業（90万円）**
自治公民館などでの感染症対策に要する衛生用備品の整備費を助成します。

経済対策

- ・**農業経営安定化支援事業（1,621万円）**
米価の下落や原材料の高騰など、厳しい経営環境となっている米農家の営農継続を支援します。
補助額：1,500 円/10a
- ・**サテライトオフィス体験事業（400万円）**
移住定住促進協議会が能美根上駅前に整備する体験オフィスに係る経費を支援し、就業の選択肢の拡大およびテレワークに代表されるコロナ禍の多様な働き方を推進します。

家計対策

※現在「のち援イート券」や「特別くらし応援事業」の対象期間中であり、今後も国や県の動向、社会情勢を注視しながら独自の施策にスピード感を持って取り組みます。

人材確保

相談体制

- ・**移住定住促進協議会運営費（1,000万円）**
移住定住促進協議会において、専任スタッフを配置し、移住支援制度の紹介や現地の案内など、移住定住に関する「住まい」と「仕事」をサポートします。
- ・**移住・定住促進戦略事業／移住体験交流事業（609万円）**
移住・定住促進のためのイベントなどを実施します。
- ・**男女共同参画推進事業（199万円）**
「男女が共に能力と個性を発揮できるまち」の実現を目指し、ジェンダー平等やワークライフバランスに関するフォーラムやセミナーを開催します。
- ・**未来の福祉人材スカウト事業（150万円）**
福祉分野の人材獲得のため、学生が事業所とともに企画・運営したイベントなどを開催します。

- ・**電子図書館導入事業（583万円）**
インターネットを通じてパソコンなどから電子書籍の貸出・返却などができるサービスを実施します。
- ・**家族のおもいでづくり事業（330万円）**
保育園・児童館行事などの各種イベントが中止・縮小されているため、家族のおもいでづくりの機会として実行委員会主催のもと「ねずみくんのチョッキ展」を開催します。
- ・**イベントサポート事業（100万円）**
根上り七夕まつり、辰口まつりにおいて新型コロナウイルス感染症予防対策を実施します。
- ・**リモート相談窓口強化事業（20万円）**
消費者相談を受けるにあたり、市役所（本庁舎）に来庁せず、リモートで相談できる環境を整備します。
- ・**保護司会デジタル化推進事業（8万円）**
保護司と保護観察対象者がリモートで面談できるようタブレット端末を導入します。

- ・**新規採用者確保支援事業（650万円）**
市内に住所を有する者を新規雇用した企業に対して補助します。
- ・**事業再構築促進支援事業（300万円）**
国の「事業再構築補助金」または県の「新分野進出・事業転換支援事業費補助金」の交付決定を受けた市内事業者の負担分を補助します。
- ・**小規模事業者支援事業（150万円）**
感染症対策につながる改装や設備投資に対して補助します。

空き家対策



- ・**空き家活用促進事業（425万円）**
空き家バンク登録物件の改修・清掃費に対して補助します。
- ・**空き家等解体補助事業（575万円）**
周辺住民の快適な周辺環境の保全および住宅地の流動化を促進するため、空き家などの解体費を補助します。
- ・**空き家流通促進事業（400万円）**
空き家と土地の寄附を受け、第三者に売却します。
- ・**空き家等対策地域活動補助事業（30万円）**
所有者不明などの理由で対応が困難な危険空き家などを町会・町内会が緊急修繕する費用を補助します。
- ・**空き家等適正管理対策事業（20万円）**
空き家の適正管理、利活用の促進を促すためのセミナーを開催します。

安全安心・健康・学び・環境保全



安全安心快適

- ・能美根上駅利用促進事業（412 万円）
鉄道利用者の増加に向けて、駅の利用実態や利用者のニーズ、利活用の事例などの基礎調査を実施するとともに、駅開業 110 周年記念事業を実施します。
- ・公共交通システム構築事業（2,582 万円）
公共交通の課題を解決し、持続可能な公共交通網を構築していくための「能美市地域公共交通計画」を策定します。また令和 5 年度に向け、「のみバス」のルート・ダイヤの改正を検討します。



健康

- ・旧クアハウス九谷跡地公園管理運営事業（327 万円）
子ども・高齢者・障がい者など、多くの方々にご利用いただける共生型公園（インクルーシブパーク）の管理運営を実施します。
- ・健康ロード改修事業（605 万円）
健康ロード（旧北陸鉄道能美線跡の市道）のリニューアルに向けた環境を整備します。令和 4 年度は交流人口を拡大させ、歩いてもらえるようなソフト施策・デジタルコンテンツの検討、ベンチ改修などを実施します。
- ・健康福祉センター改修・増築事業（2 億 636 万円）
妊娠、出産、子育ての段階に応じた切れ目のない包括的な支援および健康増進を推進する施設として、令和 4・5 年度の 2 か年計画で改修と増築工事を実施します。
- ・がん患者補正具等購入助成事業（100 万円）
がん治療を受けている方の経済的負担軽減や療養生活の質の向上、就労などの社会生活支援を目的に、医療用ウィッグ（かつら）や胸部補正具などの購入費の一部を助成します。



学び

- ・新給食センター整備運営事業（7,504 万円）
安全安心でおいしい給食の提供を行うため、根上・寺井地区の自校式学校給食施設を統合し、新学校給食センターとして整備します。
- ・特別支援教育支援員会計年度任用職員報酬（7,262 万円）
児童・生徒に対する学習支援や、相談などの個別対応の更なる充実を図り、より手厚い指導や支援を行き届かせるために、学校の支援員を増員します。

環境保全

- ・文書管理改善事業（110 万円）
機密書類や不要となった書類を溶解処理により再資源化することで、市役所から排出される廃棄物の減量化を図るとともに、循環型社会を推進します。
- ・電気自動車導入事業（1,812 万円）
市役所公用車に電気自動車の導入および急速充電設備を設置することで、脱炭素化に向けた市全体の機運の向上を目指します。
- ・能美市役所省エネルギー化事業（2,830 万円）
令和 4 年 2 月に市役所本庁舎に導入したエネルギーマネジメントシステムを活用し、より効率的な設備運転を行い、財政負担の軽減と温室効果ガスの削減を図ります。
- ・地球温暖化対策実行計画策定事業（908 万円）
2030 年度に温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46%削減することを目指し、また 2050 年までの「カーボンニュートラル」の実現に向け、地球温暖化対策実行計画を策定します。



そのほかの主な事業などについては、市ホームページ「令和 4 年度能美市予算」からご覧ください。



シティプロモーション

- ・シティプロモーション事業（629 万円）
ふるさと愛の醸成、交流人口・関係人口の拡大につなげるため、市の魅力を増す映像などを制作するとともに、SNS などを活用して情報発信力を強化します。

行財政改革

- ・議会デジタル化事業（356 万円）
AI 議事録システムの導入や本会議のインターネット生中継に対応するための環境の整備を行います。
- ・マイナナンバーカードサポート推進事業（682 万円）
マイナナンバーカードの申請をタブレット 1 台で行えるマイナ・アシストと、申請受付・来庁予約から交付までを管理できるマイナナンバーカード交付予約・管理システムを導入し、マイナナンバーカードの円滑な申請受付と職員の事務効率化を図ります。



千載一遇のチャンス



国民文化祭

- ・いしかわ百万石文化祭 in 能美 プレイベント事業
全国障害者芸術・文化祭 in 能美 プレイベント事業（1,496 万円）
令和 5 年度開催「いしかわ百万石文化祭 2023」のプレイベントを開催し、能美市の文化・芸術・歴史を市内外へ発信し、開催年への機運向上を図ります。

北陸新幹線県内全線開業（コンテンツ）

- ・北陸新幹線県内全線開業 P R 事業（500 万円）
北陸新幹線県内全線開業効果を楽しむために、いしかわ伝統工芸フェアなど、三大都市圏でのシティプロモーションを実施します。
- ・広域連携によるプロモーション推進事業（400 万円）
小松市と連携し、北陸新幹線県内全線開業の機運醸成や三大都市圏などにおける両市の知名度向上を図り、新幹線小松駅開業以降の交流人口拡大および経済効果アップを図ります。

北陸新幹線県内全線開業（施設）

- ・ギャラクシー・リノベーション事業（150 万円）
令和 6 年のオープンに向け、根上学習センター子ども宇宙科学室のリノベーションに向けた実施設計を行います。
- ・辰口フラワーハウス跡地利用推進事業（7,430 万円）
既存建物を解体し、跡地利用のための調査を実施します。
- ・根上パークゴルフ場等周辺整備事業（1,864 万円）
老朽化が著しいクラブハウスを旧青年の家の体育館横に新設するとともに、駐車場の増設や新たな公園の整備、シェレホフ市との国際交流を記念した植樹エリア「友情の森」の拡張に向けた実施設計を行います。

- ・九谷焼魅力発信事業（1,333 万円）
能美市の魅力を発信する特設サイト「能美市大図鑑」内のコーナー「能美の九谷焼」で、産業九谷を支える職人や貴重な作品を紹介します。



- ・AI・RPA 推進事業（498 万円）
市民サービスの向上や業務の省力化・効率化、人ミスの排除を図るため、パソコンを用いた職員の定型作業を自動化する RPA の本格運用の開始や職員の DX 推進研修の実施により、全庁を挙げて DX を推進します。
- ・情報システム更新・改修事業（6,005 万円）
マイナバー関連のシステム更新や Internet Explorer 11 のサポート終了に伴うシステム対応、パソコンの更新を実施します。またオンラインによる転出・転入手続のワンストップ化を可能にする申請管理システムを構築します。

加賀立国 1200 年

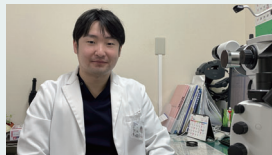
- ・史跡能美古墳群保存整備事業（1 億 8,942 万円）
国指定史跡能美古墳群のうち未整備の西山古墳群について、指定地内の保存整備工事などを実施します。
- ・小松・能美連携観光推進事業（1,000 万円）
小松市と連携し「小松・能美の九谷焼」の情報発信や「産地のブランド化」を図り、産地に訪れたいような企画を実施します。
- ・観光誘客促進事業（300 万円）
観光ツアーを開催するための実証実験やモニターツアーを実施し、着地型観光素材を検証します。
- ・団体旅行促進事業（560 万円）
能美市訪問の動機付け、また能美市の知名度向上に向けて、市内の観光地 2 箇所以上を訪問し、市内に宿泊する団体旅行（修学旅行、グループ旅行など）について、訪問客または誘致した旅行会社に対して補助し、団体旅行の促進を図ります。

- ・こくぞう里山活性化事業（2,500 万円）
トレイルランニングの新たなコースの追加や案内標識を設置するほか、国造地区、トレイルランニング大会および公共施設を一体として、地域の活性化策に向けた基礎調査を実施します。
- ・九谷焼美術館「体験館」改修事業（3,517 万円）
北陸新幹線県内全線開業に向け、九谷焼芸村への誘客を促進するため、九谷焼美術館「体験館」のリニューアルに係る実施設計を行います。

能美市立病院

新任医師をご紹介します

4月1日、眼科と整形外科に新しい常勤医師が着任しました。



眼科医 竹森 勇人 医師

プロフィール

出身大学 福井大学医学部
出身医局 金沢大学
専門分野 眼科一般
勤務先 前勤務地 南砺市市民病院（富山県）
趣味 スポーツ、旅行

4月から能美市立病院の眼科で医師として勤める竹森です。出身は小松市です。福井大学を卒業し、金沢大学で研修、眼科教室に入局し、現在医師7年目です。金沢大学附属病院、石川県立中央病院、南砺市市民病院で眼科医として働き、外來、白内障手術など行っていました。

加齢に伴い増加する病気（ドライアイ、緑内障、白内障、加齢黄斑変性症など）の早期発見・早期治療に重点を置き、また糖尿病網膜症の進行の予防などに力を注ぎ、高度治療が必要な疾患の場合も含め、大学病院とは密な連携を持ち、治療にあっています。



石川県知事選挙の結果

問 / 能美市選挙管理委員会 (☎ 58-2200 ☎ 58-2290)

3月13日、石川県知事選挙の投開票が行われました。能美市における投票率・得票数は次のとおりです。

投票率

区分	当日有権者数	投票者数	投票率
男	19,562	12,688	64.86%
女	20,491	13,933	68.00%
計	40,053	26,621	66.46%

得票数（得票順）

得票順位	候補者氏名	届出政党	得票数
1	馳 浩	無所属	10,450
2	山田 修路	無所属	8,601
3	山野 之義	無所属	6,481
4	飯森 博子	無所属	731
5	岡野 晴夫	無所属	156
	無効		202
	計		26,621

(敬称略)

Hot news

第2回のみブランド認証品（40品）が決定しました！

「のみブランド認証品」とは、市内の事業者が企画もしくは生産した商品または市内の特産品を利用した商品で、審査の上、認証した商品のことです。

第2回のみブランド認証品から、新たな取り組みとして「のみブランド 極」「のみブランド 創」「のみブランド」の3カテゴリに商品进行分类し、のみブランド認証品をさらにPRしていきます。

認証品の詳細については、広報のみ5月号に掲載予定です。

認証期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日（1年間）

のみブランド3カテゴリ

- ・「のみブランド 極」…能美市の伝統工芸品や特産品
- ・「のみブランド 創」…「のみブランド 極」の商品を題材として、市または能美市観光物産協会が、市内の事業者と協同して開発した商品
- ・「のみブランド」…そのほか「のみブランド 極」および「のみブランド 創」に属さない商品



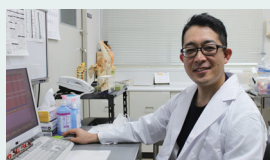
問 / 観光交流課 (☎ 58-2211 ☎ 58-2297)

また斜視や弱視についてのご相談やセカンドオピニオン目的のご来院も歓迎しております。「自分が何の病気なのかよく分からない」「治療方針に不安を感じている」といったことなど、ご遠慮なく相談していただければ嬉しく思います。

能美市は海や山の自然に囲まれ、よく子どもといしかわ動物園や辰口丘陵公園に遊びに来ているので親しみがあり、能美市立病院で働くことになり、大変嬉しく思っております。地域の皆さまにとって身近な診療を心掛けておりますので、目のことでお困りのことがありましたら、どんなことでも一度ご相談いただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。

竹森医師にインタビュー

Q・能美市でしたいことは？
A・自然の中で身体を動かしたり、ゆっくり過ごしたりしたいです。



整形外科医 高田 宗知 医師

プロフィール

出身大学 金沢大学医学部
出身医局 金沢大学
専門分野 整形外科一般
勤務先 前勤務地 石川県立中央病院
趣味 キャンプ、釣り

4月から能美市立病院に赴任することになりました高田宗知と申します。生まれも育ちも金沢市で、金沢大学を卒業した後は、北陸三県で働いてきました。医師20年目、44歳の働き盛りです。

専門は二つあり、創外固定法と足の外科です。

外反母趾や扁平足など足の病気についても積極的に取り組んでおり、治療は靴の選択からインソールの作成、手術までさまざまなポイントがあります。何より大事なのは患者さんの困っていることに真摯に耳を傾けることです。足のことでお困りの方は、若い方からお年寄りの方まで、気兼ねなく外來にお越しただけたら幸いです。

前勤務地では外傷センター1長を務め、重度四肢外傷の治療や災害対策などに従事していました。災害においては、まず命を落とされる方をゼロに

することを目指しますが、生命に関わらなくても大きなけがをする方が多く発生し大混乱となります。これに対応すべく、令和元年に日本整形外科学会に災害対応委員会が発足し、私も委員の一人として講演会や訓練の開催を行っています。

実は能美市には縁があり、昨年亡くなった祖母が工場を経営しており、子どもの頃能美根上駅から線路沿いの道を歩いて「根上のおばあちゃん」に会いに行った思い出があります。能美のおいしいものをたくさん食べさせてくれたことが懐かしいです。

至らぬこともあるかと思いますが頑張ります。どうぞ、よろしくお願いたします。

